



人生なんとかなる

◇今回は、藤田奈美さん（立命館大学経営学部卒業）のレポートです！

私は現在、熊本県にて医薬品メーカーの営業（MR：Medical Representatives）として働いています。これまでの経緯と、MRの仕事についてご紹介します。参考になれば幸いです。

【高校時代】

将来の夢や、目標はありませんでした（今でもこれと言って特にありません）。趣味や特技はなく、人見知りのため友達もそれ程多くはありません。とりあえず毎日学校に行って部活動に励み、周りに遅れを取らぬようにと最低限の勉強をしていました。

そんな高校時代だったため、受験には苦しみました。目標とする大学もなければ、どの学部に進んだら良いか分からなかったからです。模試でA判定だった大学にも、ことごとく失敗し、合格の文字を見ぬまま卒業式に臨みました。後期入試でようやく大学に進学することが決まりました。

【大学時代】

大学は立命館大学経営学部に入りました。経営学部を選んだ理由は、“とりあえず何とかなりそうな学部” だと思ったからです。サークルや部活動には所属せず、講義が終わればアルバイト先に直行するといった学生生活でしたので、特筆すべき経験がほぼありません。就活でももちろん、苦勞しました。



（左：常照寺の紅葉 右：三室戸寺のあじさい。学生時代の暇つぶしは京都の寺巡りでした）

【仕事について ～MR とは～】

大学卒業後、製薬メーカーに入社し、MRとして働いています。

MR (Medical Representatives) は医薬情報担当者と言われる仕事で、製薬メーカーの営業部門です。病院や薬局を訪問し、薬を安全に使うための情報を提供しています。クリニックや病院などで、スーツ

を着た営業マンをお見かけしたことはありませんか？ 病院などで医者と立ち話をしている営業マンは、大半が MR だと思います。

私がなぜこの職業を選んだか、といいますと特に理由はありません。福利厚生が整っており、給与水準が他よりも高いという点に惹かれました。薬学の知識は入社してから研修で叩き込まれますので、文系出身者でも問題ありません。友人や家族からは、「極度の人見知りのお前に営業なんてできるのか？」と心配されましたが、個人的にはなんとかかなると思いい入社を決意しました。実際に、なんとかになりました。

同期の中には「患者様を救いたい」「新薬を世に浸透させ、医療の発展に寄与したい」という強い熱意をもって入社してきた者もあり、私なんかが入社して良かったのか…と不安に思ったこともあります。そんな中でもこれまで仕事を続けてこられたのは、やりがい大きい仕事だったからです。MR の仕事は薬物治療を通して、病気で苦しむ患者様のお役に立つことができます。しかしながら、営業の一面もあるため、厳しい売上目標はもちろんありますし、ストレスも溜まります。それでもドクターや看護師、薬剤師の方から「ありがとう」の言葉を頂いたり、患者様の病気が治ったという話を聞くと、連日の仕事の疲れやストレスは吹き飛びます。

【転機】

入社して1年を過ぎた頃の2016年4月、熊本地震を経験しました。あの時の恐怖は、今でも鮮明に思い出せます。震源地である益城町は、当時私の担当地区でありました。震災の前後で変わり果てた町に言葉が出ませんでした。MR として、被害を受けた医療機関に対して何も出来ず、自分の不甲斐なさを痛感しました。その頃から、困っている人の役に立ちたいという思いが強くなり、仕事への取り組み方を考え直しました。

【これからの仕事】

突然ですが、あと数十年後には現在ある仕事の半分は無くなる、とされていることはご存知でしょうか。これからはAIが人間の代わりに働いてくれます。これは悪いことではありません。人間とAIが互いに不足しているところを補い合うことで、働きやすい世の中になっていきます。

昨今、製薬業界でもMRという職業は無くなるのではないかとされており、人間よりも、膨大なデータを正確に記憶することができるAIの方が“仕事がデキる”からです。調べれば何でも情報が得られる便利な情報社会で、「人間に出来てAIに出来ないことは何か」それを常に考えながら働いています。

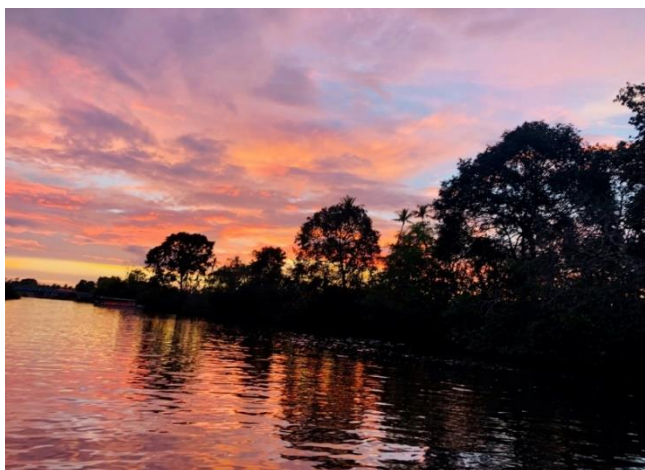
【お伝えしたいこと】

私からお伝えしたいことは、将来の夢や目標がなくても人生なんとかなります。努力した経験がなくても、一生懸命頑張らなくても、生きていけます。やりたい事は、これからの生活の中で、のんびり見つけていけば良いのではないのでしょうか。無理に周りとのスピードを合わせる必要もなく、無理にチャレンジする必要もないと思います。努力や諦めない心が美德とされる世の中は、変だなあと私は思います。私には夢や目標はありませんし、努力した経験も成功体験もありません。しかし、毎日美味しいご飯が食べられますし、働ける環境があり、家族がいて、充実した日々を過ごすことができます。

高校 3 年間は、チャンスが至る所に転がっており、時間もたくさんあります。たくさんの人と話したり、いろんな場所に行ってみたり、自分の世界を広げてみるのも良いかもしれません。こんな仕事もあるんだ、こんな生き方もあるんだ、と発見があると思います。

大学生や社会人になったら、海外にはぜひ足を運んでみてください。日本では見たこともないような絶景、フレンドリーな現地の人、文化の違いに驚きの連続です。世界はこんなにも広いんだと実感できます。

皆様のこれからの生活が有意義なものになりますよう、何か参考になれば幸いです。



(左：マレーシア・ボルネオ島クリアス川の夕景。人生で一番綺麗な夕日でした
右：インドネシア・バリ島ウブド。ここで食べたナシゴレンが絶品でした)